

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月10日
【四半期会計期間】	第131期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社ノリタケカンパニーリミテド
【英訳名】	NORITAKE CO., LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 種村 均
【本店の所在の場所】	名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
【電話番号】	052(561)7116
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員 財務部長 加藤 博
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂七丁目8番5号 株式会社ノリタケカンパニーリミテド 総務部東京総務課
【電話番号】	03(3588)1522
【事務連絡者氏名】	総務部東京総務課長 志賀 恭子
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第130期 第1四半期 連結累計期間	第131期 第1四半期 連結累計期間	第130期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (百万円)	23,784	26,227	105,378
経常利益 (百万円)	571	1,265	4,845
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (百万円)	40	4,454	1,858
四半期包括利益 又は包括利益 (百万円)	1,290	4,805	417
純資産額 (百万円)	65,022	69,838	65,428
総資産額 (百万円)	108,363	117,511	116,126
1株当たり四半期(当期) 純利益又は1株当たり 四半期純損失( ) (円)	0.28	31.88	13.16
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.2	52.5	49.5

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第130期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4 第131期第1四半期連結累計期間及び第130期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第130期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間の売上高は262億27百万円（前年同期比10.3%増加）、営業利益は9億42百万円（前年同期比124.5%増加）、経常利益は12億65百万円（前年同期比121.4%増加）、四半期純利益は44億54百万円となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### (工業機材事業)

研削砥石及びCBN工具は、東日本大震災の影響により自動車業界向けが減少したものの、鉄鋼及びベアリング業界向け等が順調に推移したため、売上げが増加しました。ダイヤモンド工具は、自動車、ベアリング、電子・半導体業界の堅調さに支えられ、ほぼ前年同期並みの売上げとなりました。研磨布紙は、ホームセンター等の流通業界や2次加工メーカーからの需要が好調で、売上げは増加しました。その結果、工業機材事業の売上高は92億95百万円（前年同期比5.1%増加）、営業利益は2億83百万円となりました。

#### (セラミック・マテリアル事業)

電子ペーストは、セラミック・コンデンサー用が減少したものの、太陽光発電用がアジア向けに順調に推移したため、売上げは増加しました。車載用を主用途とする厚膜回路基板は東日本大震災の影響で減少し、触媒担体等のセラミック部品は顧客の設備投資の停滞により減少しました。セラミック原料は光通信向けが好調でしたが、電子部材は顧客の在庫調整により売上げは減少しました。蛍光表示管モジュールは、海外市場で増販したものの為替の影響を受け売上げは微減となりました。デンタル関連商品については、当社の連結子会社であった株式会社ノリタケデンタルサプライが当期より連結の対象外となっております。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は101億32百万円（前年同期比3.7%増加）、営業利益は8億45百万円（前年同期比0.3%減少）となりました。

#### (エンジニアリング事業)

主力のヒートテクノ部門は、電子・半導体業界向け及びリチウムイオン電池業界向けに乾燥炉及び焼成炉の拡販を進めた結果、売上げが増加しました。マシンテクノ部門は、研削機械の不調により、売上げは減少しました。また、流体テクノ部門は、化学、製薬、食品業界からの需要が旺盛で、売上げが増加しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は49億11百万円（前年同期比57.5%増加）、営業利益は1億23百万円となりました。

#### (食器事業)

国内市場については、ホテル・レストラン向けが東日本大震災の影響で減少し、百貨店向けも消費者の購買意欲が回復せず、売上げは大幅に減少しました。海外市場については、米州市場はブライダルシーズンを目前にして順調に推移し、アジア市場でも受注が回復して売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は18億88百万円（前年同期比7.8%減少）であり、3億9百万円の営業損失となりました。

#### (2)対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、6億94百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

#### (4) 財務政策

当社グループは、現在、運転資金及び設備投資資金につきましては内部資金、金融機関からの借入れ又は社債の発行により資金調達することとしております。運転資金につきましては期限が一年以内の短期借入金で資金調達を行っております。国内におきましてはキャッシュ・マネジメント・システムにより当社が一括して資金を調達して各連結子会社に必要資金を配分し、海外におきましては各々の連結子会社が運転資金として使用する現地通貨にて調達することを基本としております。

平成23年6月30日現在、短期借入金の残高は16億27百万円で、6種類の通貨からなっており、うち主な通貨は日本円であります。設備投資資金等の長期資金は内部資金による調達を原則とし、一部を長期借入金又は社債により調達することとしております。なお、長期借入金の残高は102億円、社債の残高は100億円であります。

#### (5) 従業員数

当第1四半期累計期間末における提出会社の従業員数は1,936名であり、前事業年度末に比べ698名増加しました。これは主に、工業機材事業において平成23年4月1日付で当社連結子会社2社を合併したことによるものです。なお、従業員数は就業人員数であります。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	397,500,000
計	397,500,000

## 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	158,428,497	158,428,497	名古屋証券取引所 (市場第一部) 東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数1,000株
計	158,428,497	158,428,497		

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	158,428	-	15,632	-	18,810

## (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 18,728,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 138,564,000	138,564	-
単元未満株式	普通株式 1,136,497	-	-
発行済株式総数	158,428,497	-	-
総株主の議決権	-	138,564	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 単元未満株式には、当社所有の自己株式54株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ノリタケカンパ ニーリミテド	名古屋市西区則武新町三丁 目1番36号	18,728,000	-	18,728,000	11.82
計	-	18,728,000	-	18,728,000	11.82

(注) 当第1四半期会計期間末日現在における自己株式数は18,731,671株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は11.82%)であります。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	17,028	18,314
受取手形及び売掛金	29,915	28,794
商品及び製品	5,767	5,992
仕掛品	5,982	5,953
原材料及び貯蔵品	3,801	4,244
その他	2,992	2,438
貸倒引当金	144	147
流動資産合計	65,343	65,589
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	30,132	29,638
無形固定資産	741	664
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	17,282	19,375
その他	2,719	2,341
貸倒引当金	91	98
投資その他の資産合計	19,909	21,618
<b>固定資産合計</b>	50,782	51,921
<b>資産合計</b>	116,126	117,511



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,377	16,397
短期借入金	1,615	1,627
未払法人税等	857	298
引当金	1,263	432
その他	3,525	4,083
流動負債合計	25,640	22,839
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,200	10,200
退職給付引当金	1,477	1,419
その他の引当金	737	689
その他	2,642	2,524
固定負債合計	25,056	24,834
負債合計	50,697	47,673
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,832
利益剰余金	33,257	37,361
自己株式	7,612	7,613
株主資本合計	60,110	64,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,785	2,730
為替換算調整勘定	5,437	5,206
その他の包括利益累計額合計	2,652	2,476
少数株主持分	7,971	8,100
純資産合計	65,428	69,838
負債純資産合計	116,126	117,511

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	23,784	26,227
売上原価	17,002	19,648
売上総利益	6,782	6,578
販売費及び一般管理費		
販売費	4,636	4,031
一般管理費	1,725	1,604
販売費及び一般管理費合計	6,362	5,636
営業利益	419	942
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	138	166
受取賃貸料	36	84
持分法による投資利益	29	128
その他	55	24
営業外収益合計	267	412
営業外費用		
支払利息	42	41
為替差損	54	18
その他	19	29
営業外費用合計	116	90
経常利益	571	1,265
特別利益		
固定資産売却益	-	2,788
持分変動利益	-	989
特別利益合計	-	3,778
特別損失		
固定資産処分損	52	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	157	-
その他	24	0
特別損失合計	234	3
税金等調整前四半期純利益	336	5,040
法人税、住民税及び事業税	246	244
法人税等調整額	25	157
法人税等合計	220	402
少数株主損益調整前四半期純利益	115	4,637
少数株主利益	156	183
四半期純利益又は四半期純損失( )	40	4,454

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	115	4,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,486	75
為替換算調整勘定	62	243
持分法適用会社に対する持分相当額	17	0
その他の包括利益合計	1,406	167
四半期包括利益	1,290	4,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,370	4,630
少数株主に係る四半期包括利益	79	175

## 【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

## (1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社及び株式会社クラレは共同株式移転の方式により、平成23年4月13日付で、クラレメディカル株式会社及び株式会社ノリタケデンタルサプライを傘下におくクラレノリタケデンタルホールディングス株式会社を設立いたしました。この結果、連結子会社であった株式会社ノリタケデンタルサプライは連結の範囲から除外しております。

## (2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社及び株式会社クラレは共同株式移転の方式により、平成23年4月13日付で、クラレノリタケデンタルホールディングス株式会社（以下「持株会社」という。）を設立いたしました。これにより、当社が持株会社の発行済株式の33.3%を保有することとなったため、持株会社を持分法適用の範囲に含めております。

## 【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

該当事項はありません。

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

該当事項はありません。

## 【追加情報】

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

## (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 【注記事項】

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	869百万円	796百万円

(注) のれんの償却額については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月10日 取締役会	普通株式	359	2.50	平成22年3月31日	平成22年6月10日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月12日 取締役会	普通株式	349	2.50	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	8,842	9,774	3,119	2,048	23,784
セグメント利益 又はセグメント損失( )	43	847	182	201	419

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,295	10,132	4,911	1,888	26,227
セグメント利益 又はセグメント損失( )	283	845	123	309	942

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## (企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1 共通支配下の取引等

- (1) 結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

結合当事企業の名称及びその事業内容

	名称	事業の内容
結合企業	株式会社ノリタケカンパニーリミテド(当社)	研削・研磨工具の販売及び電子材料・部品、セラミック部品、工業用設備・装置、食器の製造販売
被結合企業	株式会社ノリタケボンデッドアブレーション	研削砥石の製造販売
	株式会社ノリタケスーパーアブレーション	ダイヤモンド工具の製造販売

企業結合日

平成23年4月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社ノリタケボンデッドアブレーション及び株式会社ノリタケスーパーアブレーションを消滅会社とした吸収合併であります。

結合後企業の名称

株式会社ノリタケカンパニーリミテド

取引の目的を含む取引の概要

株式会社ノリタケボンデッドアブレーションは研削砥石の製造販売を、株式会社ノリタケスーパーアブレーションはダイヤモンド工具の製造販売を主な事業としており、いずれも当社の100%子会社であります。このたび、当社グループの経営資源の集中と組織の効率化を図るため、これらの子会社を吸収合併することといたしました。

なお当社は、株式会社ノリタケボンデッドアブレーション及び株式会社ノリタケスーパーアブレーションの全株式を所有しており、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

## (2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## 2 共同株式移転による持株会社の設立

当社は、平成23年1月28日に、株式会社クラレ（以下「クラレ」という。）、クラレメディカル株式会社（以下「クラレメディカル」という。）及び当社の連結子会社である株式会社ノリタケデンタルサプライ（以下「ノリタケデンタル」という。）との間で「歯科材料関連事業統合に関する基本契約書」を締結し、クラレメディカル及びノリタケデンタルの歯科材料事業を統合することについて基本合意をいたしました。

これに基づき、平成23年4月13日に当社及びクラレが共同出資の持株会社としてクラレノリタケデンタルホールディングス株式会社（以下「持株会社」という。）を設立し、クラレメディカルとノリタケデンタルを持株会社の100%子会社といたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間においてノリタケデンタルが当社の連結の範囲から除外されました。

また、平成24年4月1日を目標として持株会社、クラレメディカル及びノリタケデンタルの3社を1社に統合する予定です。

### (1) 各結合当事企業の名称、その事業の内容、企業結合を行う主な理由、企業結合日及び企業結合の法的形式

各結合当事企業の名称及び事業の内容

クラレノリタケデンタルホールディングス株式会社

クラレメディカル株式会社

株式会社ノリタケデンタルサプライ

歯科材料、CAD/CAM機器の開発・製造・販売

企業結合を行う主な理由

国内市場における歯科材料事業の成長性は人口減と医療費抑制により鈍化傾向にあり、事業の成長のためには国内市場のさらなる活性化と海外販売の強化が必要となっております。

このような状況の中、クラレメディカルとノリタケデンタル両社による開発・製造・販売にわたる協力関係の構築によりシナジー効果を発現し、国内並びにグローバル市場において存在感を高めることを目指しております。

企業結合日

平成23年4月13日

企業結合の法的形式

当社及びクラレが共同株式移転の方式により、クラレメディカルとノリタケデンタルを傘下に置く持株会社を設立いたしました。

これにより、当社が持株会社の発行済株式の33.3%を保有することとなり、同社を持分法適用関連会社といたしました。

### (2) 実施した会計処理の概要

「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用することにより、のれん及び持分変動利益が発生いたしました。

発生したのれんの金額	845百万円
のれんの発生原因	持株会社に対して投資したとみなされる額と、これに対応する持株会社の企業結合時の時価純資産額との差額による
償却方法及び償却期間	5年間で均等償却
発生した持分変動利益の金額	989百万円

### (3) 当該結合企業が含まれているセグメントの名称

セラミック・マテリアル事業

## (1株当たり情報)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失( ) 0.28円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株 当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記 載していません。	1株当たり四半期純利益 31.88円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在 株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( ) (百万円)	40	4,454
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失( ) (百万円)	40	4,454
期中平均株式数 (千株)	143,702	139,699

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

## (剰余金の配当)

平成23年5月12日開催の取締役会におきまして、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	349百万円
1株当たり配当額	2.50円
基準日	平成23年3月31日
効力発生日	平成23年6月10日



**第二部【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月10日

株式会社ノリタケカンパニーリミテド  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安井 金丸 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松本 千佳 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 齋藤 英喜 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ノリタケカンパニーリミテドの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ノリタケカンパニーリミテド及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。